

# 高島市誕生を祝い1,000人が集う！ 記念式典、「たかしま環の郷フォーラム」開催

旧高島郡6町村が合併協定書に調印をして、ちょうど1年を迎える5月29日(日)に、今津文化会館で高島市誕生記念式典が開催されました。式典には、滋賀県知事、県選出国会議員をはじめ県内の市長・市議会議長がお祝いに駆けつけてくださいました。また、旧町時代から友好関係にある吹田市や愛媛県大洲市からのご来賓や、市内の区・自治会関係者、市民など約1,000人が出席し、高島市の門出を祝いました。



オープニングでは、高島市誕生までのあゆみと現状などを綴った映像の上映に続き、市立マキノ中学校ブラスバンド部が「ライオンキングメドレー4曲」を行進しながら演奏され、オープニングにふさわしい若さあふれる音楽によって式典の幕が上がりました。



式典では、総務大臣から市町村合併功労者として、旧6町村長に対し感謝状が贈られました。また、合併までの調整等に対しご尽力頂きました、合併協議委員会や新市建設計画策定委員に対し、市長から感謝状が贈られました。

また、記念式典を盛り上げたのが、あらゆる方面で自主的に参加してくれた市民の皆さんでした。

高島青年会議所の皆さんは「たかしまの心はひとつ」を市民のメッセージ映像として上映してくださいました。

また、この日のために市内の合唱団で特別に結成された総勢100名の「高島市祝祭合唱団」が、日下部吉彦氏の指揮により「ふるさと」「おぼろ月夜」など4曲を披露してくださいました。



- 語り手
- ・京都大学副学長 金田章裕氏
  - ・京都精華大学教授 嘉田由紀子氏
  - ・写真家 今森光彦氏
  - ・高島市長 海東英和
- 最後に、高島市祝祭合唱団と出席者全員が手話も交えながら「琵琶湖周航の歌」を合唱し、記念式典は終了しました。



## たかしま「環の郷」フォーラム 「こどもたちに伝えたい 高島の風景とこころ」



高島には人と自然の関わりの中でつくり出されてきた棚田やヨシ群落、まちなみ、風習などといった独自の文化や景観があります。

フォーラムでは、こうした文化や景観を、次の世代に引き継ぐ大切なものとして、市民はもちろん都市住民など多くの人たちが手をつなぎ、守り活かしていくことのできる仕組みとして「エコツーリズム」を提唱し、高島市の重要な取り組みとして位置づけることについて話し合われました。

(総務課)

## 高島市のまちづくりにお知恵をお貸しください。 高島市総合計画を策定します。

市では、高島市の将来目標を定め、まちづくりを計画的に進めていくために高島市総合計画を策定します。この計画は、合併の際に策定された新市建設計画の内容を包含しながらも、市としての一体的なまちづくりの方向性を示すために策定するものです。

この計画の策定にあたっては、多くの市民の方々からのご意見やご提言をもとに計画作りを進めていきたいと考えています。皆さんの幅広いご意見、ご提言をお寄せください。

### まちづくりの提言募集

市の財政事情が厳しい中で、高島市にあるものを活用したまちづくりの方策について、市民の皆さんの提言をお聞かせください。また、「将来の高島市がめざすもの」についてもご意見をお聞かせください。

■応募方法 郵便、ファックス、電子メールなど様式は問いません。住所、氏名、年齢をご記入の上、次のあて先までお送りください。

・郵送先  
〒520-1592 高島市新旭町北畑565  
企画調整課または各支所地域振興課

・ファックス (cax) 8-1566

・電子メール kikaku@city.takashima.shiga.jp

■応募締め切り 8月2日(金)

■意見の公表 応募いただいた意見や提言は、総合計画策定のための重要なご意見として承ります。また、その内容は、市の判断により市役所や支所に掲示させていただきます。

■問い合わせ 企画調整課 ☎(cax)8-114

また、市民の方から無作為抽出によりアンケート調査などをお願いいたしますのでご協力をお願いします。

〔企画調整課〕

## 定期の日本脳炎 予防接種を見合わせてます。

日本脳炎予防接種は、予防接種法に基づいて定期接種を行っているところですが、本年5月、現行の日本脳炎ワクチンの使用と重症の急性散在性脳脊髄炎(ADEM アテム)の発症との因果関係が認定されました。このため5月30日付で厚生労働省より、定期の日本脳炎予防接種の勧奨を控えるよう勧告がありました。

これを受けて、高島市でも、小中学生を対象とした集団での日本脳炎予防接種は、当分の間中止とします。また幼児等の個別の日本脳炎予防接種についてもできるだけ見合わせていただきますようお願いいたします。



Q 高島市では絶対に日本脳炎の予防接種は受けられないのですか？

A 日本脳炎の流行地に行くなど、感染する恐れが高い場合で特別に希望される場合には、日本脳炎ワクチンの効果や副作用などについて医師から説明を受け、同意書に署名をしたときに限り接種が受けられます。市内では、公立高島総合病院をはじめ個別接種を実施しているいくつかの医療機関で受けることができます。

Q 今回の措置により、日本脳炎が流行することはありますか？

A 近年の国内での日本脳炎の発生は、年数程度となっており、これまでの予防接種の普及のほか、衛生環境の改善などにより予防接種を中止してもただちに日本脳炎が流行する危険性は低いと思われるます。

Q 日本脳炎の予防接種をすでに受けたのですが、ADEMにかかる心配はないのでしょうか？

A 日本脳炎ワクチンの副作用としてのADEMは70万〜200万回の接種に1回程度、ごくまれに発生すると考えられています。ワクチン接種後数日から2週間程度の間に発熱、頭痛、けいれん、運動障害等の症状があらわれますが、ほとんどは治療により回復します。接種を受けても症状のない場合は、健康診断や検査を受ける必要はありません。

Q 日本脳炎にかからないようにするため一般的に注意することはありますか？

A 蚊の多いところに出かける際には、念のため長袖、長ズボンを着用する、虫よけスプレーを使用するなど蚊に刺されないよう対策をおすすめします。

▼問い合わせ先 健康推進課 ☎(cax)8-110